

特別活動（ホームルーム）指導案

平成 29 年 10 月 30 日（月）5 校時（13:35～14:25） 体育館 指導者 茂呂居 有

1 題材名 「社会人になるための準備」 ～今日から始めよう～

2 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領第 5 章の第 2 の〔ホームルーム活動〕の 2 の（3）学業と進路カ「主体的な進路の選択決定と将来設計」に当たるものである。

企業の求める能力は業種や業態によって違いはあるが概ね同じである。その能力を身に付けるために学校生活を見直し、自分がどんな業種や職種に向いているかを理解することは必要不可欠である。また、コミュニケーションやチームワークの大切さを理解することで自他を認め協調性を養うことにつながる。そして自己理解に努めることで希望する進路や将来を具体的にイメージさせ生徒が主体的かつ積極的に進路について考え、学校生活へ取り組む姿勢を見直すことをねらいとする。

3 研修との関わり

長期社会体験研修では人事課人材開発チームに所属し、階層別の社内教育や新卒採用業務に携わっている。企業で働くために必要な能力や求める人物像について、採用担当者に聞いたことや、自ら体験して感じたことを生徒に伝えていきたい。

具体的には次の 2 点について、研修で学んだことを伝え、日々の学校生活につなげさせたい。

1 点目は「考える」ことである。株式会社ミツバでは考えることができる人物を求めている。現代はインターネットの普及により、考えなくても検索すればすぐに答えは見つかる時代である。新たなものを創造するには多角的な視点から物事を捉え、柔軟に考えなければならない。

2 点目は「コミュニケーション」の重要さである。仕事はチームで行うためコミュニケーション能力が求められる。他者と協力し問題解決することや協調性が重要である。

この 2 点を中心に自分の将来像を描かせるとともに、企業が求める能力を高めるために日々の学校生活に取り組ませたい。

4 指導方針

- (1) 考えさせることにより物事に対して多角的な見方があることを理解させる。
- (2) 進路選択に対する意識を高めさせ、将来について考えさせる。
- (3) 自己理解に努め、現状の学校生活について考えさせる。
- (4) P D C A サイクルの必要性を知り、改善活動に対する意識を高めさせる。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	学ぶ事や働くために必要なスキルについて関心を持ち、意欲的に授業に取り組もうとしている。
	集団の一員としての 思考・判断・実践	チームでの考察の時間に積極的に考え、アイデアを発言している。
	集団活動や生活につ いての知識・理解	チームワークの大切さについて知り、チームワークと学校生活を結び付けることの必要性を理解している。

時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
本時の活動	卒業後に必要となるスキルについて理解する。	今、自分自身がやらなければいけないことについて真剣に考えることができる。	研修先企業や企業が求める人物像などについて、理解する。
	企業の改善活動について理解する。	課題や改善策を自分で考えることができる。	個人・チームで考える大切さを実感する。
		進路実現に向けて主体的に計画し、それに対して取り組むことができる。	ワークシートを活用し、個人での考察し振り返る。
事後の活動	今の自分の取組が社会に出て通用するか考える。	改善すべき点を見付け改善に努めることができる。	ワークシートをまとめる。

6 本時の学習指導

- (1) **目 標** 企業が求める人物像を理解し、自己理解に努め現在の学校生活の改善点を考えることができる。
- (2) **準 備** 【教員】資料、ワークシート、プレゼン資料、ICT 機器（P C、プロジェクタ）
【生徒】筆記用具
- (3) **展 開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育とのかかわり)
<導入> 1 先輩が就職している企業について知る（研修先企業の紹介を聞く）。 — 予想される生徒の反応 — ・企業ではどんな業務があるのか。 ・知っている企業だけでなく世の中には多くの企業がある。	5分	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介や企業紹介、研修の業務内容説明について、生徒に伝わりやすくするため、画像中心のプレゼン資料を投影し、説明する。 本時のメッセージを伝える。 説明が長くなり過ぎないように注意する。
<展開> 2 企業がどのような人物を求めているのかを考え、知る。 ・まずは自分で想像して考え、ワークシートに記入する。 ・研修先企業の人事課長の話の紹介を聞く。	10分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子を見て考える時間を調整する。より身近な例を挙げることによって自分自身に本時の内容が必要であると思わせる。 ◇チームワークの大切さについて知り、チームワークと学校生活を結び付けることの必要性を理解している（ワークシート）

<p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に働いたことがないから分からない。今までの知識の中で記入する。 ・近年の若者の様子を知る。 ・今の自分と照らし合わせてみる。 <p>3 コップの用途を創造する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でワークシートに記入する。 ・周辺の生徒とチームとなりアイデアを創造する。 <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを組み合わせることで新たな用途が見えてくることを知る。 ・考えることがどういうことだか知る。 <p>4 企業が新入社員教育の時に使用した資料を見せ、今自分が何をしなければならないのかを考える。</p> <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんとなくは考えられるがしっかりとしたことまでは分からない。 <p>5 PDCAサイクルについて学習する</p> <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の段階から何をすればいいか分からない。 	<p>15分</p> <p>10分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟に考えさせる。多方面から考えさせる。机間指導を行い、ヒントを与える。 ・他者のアイデアと合わせることで多くの用途が見つかることを実感させる。 ・周囲の生徒と話しやすい環境を作る。 ・コミュニケーションの大切さを説明する。 <p>◎学年の教員と協力し、巡回して生徒に声を掛ける。</p> <p>◇チームでの考察の時間に積極的に考え、アイデアを発言している。(ワークシート)</p> <p>(人間関係形成・社会形成能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で普段指導されていることと同じであることを理解させる。 ・普段の生活での改善点がないか考えさせる。 ・自己改善活動の意義を理解させる。
<p><まとめ></p> <p>6 今のうちから進路について考えなければいけないことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における活動に無駄なことはないことを知る。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返らせ、自分自身の現状と将来を考えさせる。 <p>(自己理解・自己管理能力)</p>

※資料添付 ・資料 ・ワークシート